

太田女子高等学校 学校評価一覧表② (令和3年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○授業の内容に、生徒の85%以上が満足している。	A	A	A	○本校が育成したい資質・能力を見据え、年2回の授業アンケート等でフィードバックを得ながら、生徒の満足度を一層向上させるべく授業改善を継続していく。 ○生徒満足度のさらなる数的向上を目指す。学年・科目によって満足の度合いが異なるため、生徒の実態を十分踏まえて的確な方策を検討し実践している。 ○97%の肯定的回答に慢心することなく、少数生徒の声にも丁寧な耳を傾けて、さらに学校の活性化を図る。	○創立100周年を迎え、在校生徒がその歴史と伝統に誇りを持ちつつ、現在の学校生活に充足感・帰属意識を得られるよう、今後も引き続き教育活動を充実させていきたい。 ○コロナ禍による様々な制約を乗り越え、あきらめず目標達成に向けて努力する生徒を育ててほしい。	○令和4年度からの新教育課程と55分授業に向けて、充実した教育活動を目指し、授業改善に努めていく。 ○習熟度別授業をより効果的なものにするため、生徒の学習状況等を把握し、生徒が主体的に学ぶ姿勢を育てる。 ○感染状況を見極めながら、生徒の記憶に残る学校運営を目指す。
		○習熟度別の授業形態に、生徒の85%以上が満足している。	A	A	A			
		○自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導を行っていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○進路実現に向けた学習指導に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	○授業・課外等の内容を振り返り、改善努力継続中である。土曜学習についてさらに実践効果を検証する。 ○昨年度より改善傾向だが、感染防止対策として座席減・短時間利用を継続せざるを得ない。貸出利用をさらに呼びかける。	○土曜学習について内容・形態に一層の工夫を求める声に一考の価値がある。 ○授業内容や探究学習と運動した図書の利用を引き続き推奨しながら、読書の裾野を広げていきたい。	○来年度から導入される55分を有効に活用し、授業改善に努め土曜学習や課外授業の内容を充実させる。 ○読書の楽しみを引き続き発信しつつ、調査・研究に書籍・雑誌・データベースを役立てる啓発活動を強化する。
		○生徒の65%以上が図書館を利用している。	B	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。 ○国公立大学の合格者数が140名以上である。 ○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上である。(2年) ○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上である。(1年)	基礎学力・知識の定着を基盤にしつつ、今後学年進行に従って、思考力・応用力の養成に指導の力をシフトしていく。(3月末の可否結果待ち)	B	A	A	○伝統ある女子進学校として、地域の期待は大きい。生徒一人ひとりの目標や希望を大切に、生徒自身が成長の実感を得られるよう、きめ細やかで向上意欲を喚起する指導の継続をお願いしたい。	○新教育課程や入試改革に対応するため思考力・判断力・表現力を身に付けられるような授業を実践していく。 ○生徒の進路実現に資するべく、個に応じた指導、思考力、表現力を養う指導を強化する。
			国数英総合で、7月模試で偏差値60以上の生徒は29.4%、1月は32.4%、2月は41.7%であった。1月模試では、偏差値60以上の生徒は50.8%であった。	(B)	B	B		
				(B)	A	A		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○しっかり清掃に取り組みしていると自己評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	○コロナ対策として実践している消毒が習慣化されたことが評価できる。用具等の整備も継続して充実させることができた。 ○校内公開のみだが文化祭を開催でき、多くの生徒が主体的に活動する場面を創出できた。コロナ禍にあっても今後も工夫を続ける。	○一般公開の難しい中で、文化祭を校内開催できたことは、生徒の主体性や協働性を育むことにつながったと評価できる。	○状況に応じた清掃用具の整備と具体的な清掃方法の提示を継続する。 ○生徒が主体となった学校行事の開催に向けて、環境を整える。
		○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	A	A	A			
	5 学校はいじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的にしていますか。	○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	基本方針達成を予定していたPTA総会中止につき、紙面等による説明機会の創出を図っていきたい。学校生活アンケートの実施方法を工夫した。	B	A	A	○「いじめ未然防止」や早期発見・解決への努力が窺える。取組の発信方法についてはさらに検討をお願いする。	○学校の取組の保護者への周知を丁寧に行っていくとともに、予防的取組をさらに充実させる。
			健康管理の意識は向上している。クロームブックを活用し日々の検温と記録指導を徹底して実施してきた。	A	A	A		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○健康管理の重要性を理解し、維持や改善に努めていると自己評価する生徒が80%以上である。 ○部活動が充実していると評価する生徒が85%以上である。 ○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止め、交通事故ゼロを目指す。 ○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が60%以上である。 ○入院等のおやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(3年) ○入院等のおやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(2年) ○入院等のおやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(1年)	様々な制約の中で懸命に活動に取り組む生徒たちを継続支援してきた。感染対策にも配慮した。90%以上の生徒は安全指導を真摯に受け止めているが、自転車事故が2件あった。マナー向上運動も展開した。	A	A	A	○担当分掌を中心に、生徒指導・保健安全指導に学校をあげて取り組んでいる様子が感じられる。 ○ヘルメット着用推進を根気強く続けてほしい。 ○本校のように進学意識の高い生徒層にも、生徒指導・教育相談の果たす役割の大きさが窺える。	○保健だよりや生徒保健委員会の活動を通じて、心身の健康管理が実践できるよう、時機に応じた啓発活動を継続する。 ○コロナ感染防止対策を徹底しながら活動を充実させる。 ○ヘルメット着用努力義務化に対応した指導を適切に行う。事故ゼロを目指した交通安全教育をさらに充実させる。 ○交通委員会や生徒会など、生徒自身からの働きかけをとおり、自転車ヘルメットの着用率向上を目指す。 ○悩みを訴える生徒に対してSCの協力支援を受け、家庭状況を的確に把握し保護者への連絡を密にしつつ中長期的に観察する。 ○精神的な面で欠席の多い生徒に対しては引き続き家庭との連絡を定期的に行い、学年団で連携しながら支援を行う。 ○出席状況は良好であるが、心配な生徒に対してはスクールカウンセラーと学年団とで連携して支援を行っている。
			生徒会と協力しながら、生徒の主体的活動を通じてヘルメット着用の必要性を自覚できるよう今後も促していく。1年生は実質着用率向上中である。スクールカウンセラーの支援等を受けつつ、欠席がちな生徒に対して継続してフォローしてきた。	C	C	C		
			心理・情緒的な理由から休みがちな生徒・家庭との連絡を密にし、学校との絆を見失わないよう温かく接してきた。学習の遅れに配慮し支援した。欠席の多い生徒に対して、スクールカウンセラーと学年団とで綿密に連携をとりながら支援を続けることができた。	B	A	A		
				A	A	A		
			A	A	A			
			A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○進路に関するLHRや進路講演会などの各種進路行事が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	○校外のオンライン進路行事なども活用するよう紹介したり、個別面談を推進して、生徒自身が進路意識を高める指導を続けて行っていく。 ○探究学習との連携により、オンラインによる講演会や模擬授業の開催が実現し、生徒の言動にプラスの効果が生まれている手応えを得られた。	○夢を育み、生徒一人ひとりのニーズに応える進路指導の継続に期待している。 ○コロナ禍でできることが工夫されている。	○講演会の充実や探究学習と連携し、LHRでの進路指導を充実させ、生徒の実態に応じた適切な進路指導を実施する。 ○キャリア教育の充実を図り、自己実現のためにより高い目標を設定させる。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	○社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて考えている生徒が80%以上である。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○PTA関連行事に年1回以上参加している保護者が80%以上である。 ○学校のホームページを月に2回以上更新する。	B	B	B	長らくコロナ禍で年1回以上の行事参加者は約75%で、保護者参観等には依然制約が大きい。 8割が「ほぼ満足」の回答だが部活動ページを中心に更新増を求める声に応える運用も考えたい。	○コロナ禍の制約は厳しいが、可能な工夫を継続検討していただきたい。 ○HPを学校の教育活動の発信に活かしていただきたい。	○コロナ禍であっても、さらにPTA行事に参加できる工夫をする。 ○他業務に支障のない範囲で、HPを学校の教育活動発信に活かしていく。
			B	A	A			
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○ICTを活用した情報配信に満足している生徒・保護者が70%以上である。 ○職員会議と朝会は、年間半数以上、ペーパーレスで実施している。	A	A	A	肯定的回答のさらなる数値向上を目指しつつ、現在の方策を維持・継続していく。 現在の方式が以前から定着しており、業務の効率化にも役立てることができているため、現状を維持・継続していく。	○クロームブックなどICTが有効に利用されている。授業展開への活用にも期待している。 ○業務の効率化が図られていることが評価できる。	○ICT活用について、各分掌、各教科で検討し、実践を進める。 ○今後も更に、デジタル化を推進していく。
			A	A	A			